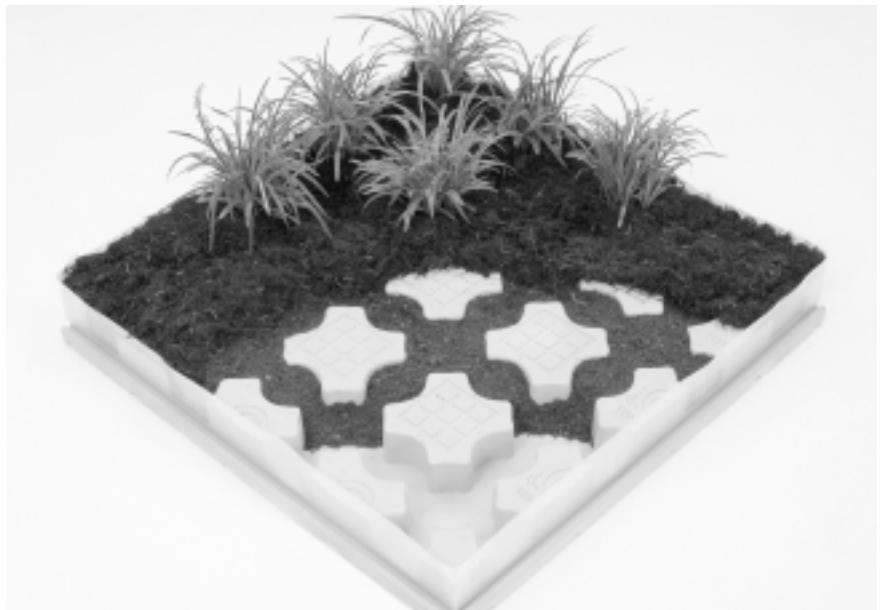


芝生・セダムに続く  
屋上緑化に「第三の選択肢」

厳しい荷重制限（60kg/m<sup>2</sup>）の中でも、多様な植物の導入を可能にした新開発の屋上緑化システム。生育基盤の中に嵩上げ部を設け、植物に必要な土壌厚を確保すると共に、基盤同士を連結することで土壌の連続性を確保する。生育基盤は底面貯水機能を有しており、保水力の強い人工土壌と自動灌水設備を標準装備することで、省メンテナンス化を図っている。



基盤を連結することで土壌の一体化を図ることができる

【R-パレットシステムの主な特徴】

- ・超軽量（60kg/m<sup>2</sup>以下）
- ・ローコスト
- ・グランドカバー植物対応
- ・大本類（地被類）利用可能
- ・底面給水型（節水型）
- ・自動灌水システム標準装備
- ・省メンテナンス
- ・雑草が生えにくい

■格子基盤

厳しい荷重制限でも、土壌厚を確保できるように、土壌面と嵩上げ部分が一体化した基盤を開発した（特許申請中）。

■底面給水

勾配によって、底面に水が溜まる仕組みになっている。根が下層に入ること、植物も乾燥に強くなる。

■連結

パネルを連結することで、土壌の連続性を確保し、面的に排水を行う。

■雑草対策

雑草の種が入りやすい植物と植物の間の空間は、嵩上げ（突起）部分の上にマルチング材が施されている状態である。土がなく雑草も生えにくくなる。

■夏場の温度差は20℃以上

夏場、格子基盤の底面温度とコンクリート露出面では、日中20℃以上の温度差がある。土や格子基盤の断熱性と植物の水分コントロール（蒸散活動）による効果である。

【施工の流れ】



耐根シートの設置



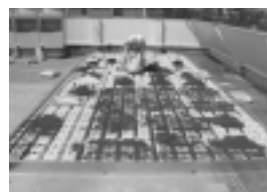
土留めパネルの設置



格子基盤の設置



端末処理



人工土壌の敷き均し



植物の植え付け

【植栽例】



フィリヤブラン



フィリフェラオーレア